

八王子市市民活動支援センター

平成25年度事業報告

八王子市市民活動支援センター
センター長 大山 健三

1. はじめに

平成25年度は、あらゆる分野の公益的な市民活動をサポートし、地域やまちを活性化するための支援施設として、八王子市が八王子市市民活動支援センターを設置して10周年を迎えた年となりました。

この節目の年に、支援センターの専用スペースが拡大され、市民や団体の方々が自由に集えるフリースペース（サポハチガーデン）を設置、センター機能の充実を図ることが出来ました。

また、近年の市民活動を取り巻く環境変化に対応するため、団体間の連携・協働等のきっかけづくりの講座を積極的に開催するとともに、センター事業に多様な意見を反映させようと、外部サポートスタッフの参加を更に進め、発信力や提供サービスの向上に取り組みました。

2. 支援センター月例会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一堂に会した月例会を開催しました。

会議の目的は、支援センターの利用状況確認、各部会活動報告並びに予算執行状況の確認です。また、必要に応じ、センター業務全体及び各部門の課題や取り組みについての検討・意見交換を行い、課題の共有化を図り支援センターサービスの適正化、スタッフのレベルアップに取り組みました。

評価と課題

常勤、非常勤混在の勤務体制のため、スタッフ同士の連携は不可欠で、会議内容が報告や確認が多くなる傾向がありますが、今後とも、それに留まらず貴重な時間を様々な意見交換、討議を行い、市民活動の今後を見据えたサービス向上やセンタースタッフのレベルアップに役立てます。

3. 企画運営会議の開催

四半期毎に1回開催しました。運営会議の構成は、八王子市民活動協議会の三役並びに支援センター長です。テーマ、内容によっては、副センター長、担当部長も参加します。

会議内容は、支援センター四半期毎の活動報告並びに業務運営に関する協議や意見交換等で、支援センターの適正な運営やサービス機能向上等について協議しました。

評価と課題

八王子市民活動協議会の理事会等で日常的報告は行っていますが、四半期毎に行う企画運営会議では、各テーマ毎に活発に意見交換が行われ、支援センター運営強化につながっています。今後とも支援センターの当面の課題だけでなく、中間支援施設として、地域の市民活動を取り巻く環境の将来を見据え、中長期的な課題を含めて前向きに討議していきます。

4. 情報セキュリティ委員会

平成24年度監査が5月17日から6月13日までの間、支援センターの個人情報保護基本規程第20条2項に基づき実施されました。審査は、書類審査をはじめとして、情報セキュリティ委員会へのヒヤリングなど、日常業務における情報管理体制について監査責任者水野義嗣氏により行われ、6月14日付けで、監査報告書を受領しました。また、今年度は7回の情報セキュリティ委員会を開催し、監査指摘事項の対応協議、課題や達成度の確認を行うとともに、2月10日の委員会では情報セキュリティに関するテスト問題、10問にスタッフがそれぞれ取り組み、全員で正誤や内容の確認を行い意識向上に役立てました。

評価と課題

情報セキュリティ監査結果として、全体的な情報管理体制は認められたが、一部管理マニュアルの不足（緊急時の対応、代表者による見直し等）の指摘があったので、早急に規程追加整備に着手しました。今後とも、情報マネジメントの重要性に鑑み、組織内のPDCAを回し、適正な情報管理に努めます。

5. 八王子市環境マネジメントシステムへの取り組み

(1) 八王子市環境マネジメントシステム勉強会

毎年1回実施しているLAS-E（八王子市環境マネジメントシステム）勉強会を、11月6日に開催しました。講師には、八王子市環境政策課主査岩本正明氏をお招きし、「八王子市の地域特性としての豊かな自然が作り出す住み続けたいまちづくりは、行政の力だけでは難しく、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で責任を負う必要があります。」等の話を頂き、スタッフ一同環境保全に向き合うことの大切さを改めて学びました。

(2) 環境マネジメントシステムLAS-E監査

1月17日、環境マネジメントシステムLAS-Eの監査が、北部環境保全推進地区市民会議高橋一郎氏、環境自治体会議環境政策研究所江崎美枝子氏、資源循環部ごみ総合相談センター木下博文氏3名により行われました。環境マネジメントシステムLAS-Eも第3ステージに移行していることから、市民・事業者やパートナーシップ組織による環境保全・創造活動や協働に関することを中心に監査が行われました。

評価と課題

支援センターの様々な市民活動支援事業や多様なセクターとの連携・協働は環境マネジメントシステムLAS-E第3ステージの趣旨に沿うものと評価を受けたことから、今後とも積極的に推進して行きます。

6. 「指定管理者制度」のモニタリング実施結果と評価

7月29日、八王子市より平成24年度支援センターの管理運営に関わるモニタリングの実施結果について書面で通知がありました。総合評価は6年連続の“A”評価となり、評価概要は市民満足度調査において高い満足度を維持するとともに、広報誌のカラー化、名称変更（SUPP ORT802）、読みやすい紙面づくり等でアピール力が向上したことなどが評価されました。

評価と課題

評価には、これまで築いてきた多様なセクターとの連携体制のさらなる発展、地縁型・テーマ型組織への展開や、「ゆめおりファンド」を通じた市民活動団体の基盤強化支援の継続的推進へ

の期待も込められており、引き続き其々の事業の効果的推進を図っていきます。

7. 調査研究活動

ゆめおりファンド事業の推進に当たり、市内約483団体にアンケートを実施しました。現在進めている、「物」の支援に関するニーズ調査、これから検討予定の「人材」ニーズの調査等により今後の市民活動基盤強化支援策の参考にすることを目的としました。

評価と課題

今後とも中間支援施設として、実態に即したサービス向上に資すべく、状況に応じて定期的に指定管理者である八王子市民活動協議会と連携しながら、アンケート調査や研究活動等を実施していく予定です。実施に当たっては目的や手法などしっかりと検討し実施します。

8. 施設利用状況（25年度・利用件数）

会議室	フリー スペース	コピー 機	印刷 機	面談 相談	来所 他	電話 相談	電話 他	活性 化室	メール 相談	メール 他
906	1,668	600	239	152	823	95	2,868	815	3	6,030

*P37 参照 「平成25年度施設・会議室利用状況報告」

評価と課題

今年度、会議室利用数は減少しました。これは近隣に無償で使える民間の施設ができたことが一つの要因として考えられますが、こうした施設ができたことは大変喜ばしいことです。

支援センターとしては他施設との差別化や利用団体を増やす等の取り組みをしていく必要があります。新設のフリースペース「サポハチガーデン」は、打合せや、情報収集の場として多くの利用をいただいています。相談に関しては件数も38%ほど増加しています。内容はボランティアから団体の紹介、活動場所や連携できる団体の情報提供など多岐にわたっていますが、助成金とNPO法人設立に関する相談が特に増えています。ここには専門的な知識が求められ、支援センター業務の中核をなす部分であり、今後とも相談対応のスキルアップに努めます。

9. 総務部の活動

(1) 外部対応

4月度

4月2日、協働推進課来館対応／ 4月3日、協働推進課打合せ訪問／ 4月6日、日本中国友好協会八王子支部主催展覧会参加／ 4月10日、NPO多摩サロン（多摩市）来館対応／ 4月14日、NPO法人八王子さくらの会主催「陵南公園さくら祭り」参加／ 4月14日、NPO法人八王子は市民の会主催「八王子は春祭」参加／ 4月22日、ハニカムステージ1周年参加／ 4月24日、6市・市民活動連絡会出席

5月度

5月9日、八王子市協働推進課来館対応／ 5月12日、「八王子ものがたり」お披露目の集い参加／ 5月15日、センター元気、老人クラブ連合会、町会自治会連合会訪問／ 5月16日、八王子市訪問（協働推進課、秘書課、政策審議室、市民部他）／ 5月17日、石森八王子市長来館対応／ 5月19日、アート・ムーチョ、ビッグウエスト学生フェスティバル見

学、中町カフェ「SUZU」訪問／ 5月20日、法政大学社会福祉学部インターンシップ説明プレゼン／ 5月22日、室蘭市議会議員来館対応／ 5月27日、東部地区連絡会出席／ 5月28日、西東京市市民協働推進センターゆめこらぼセンター長内田氏来館対応／ 5月30日、広友リース株式会社訪問

6月度

6月1日、2013環境フェスティバル参加／ 6月4日、団塊世代等地域参加支援に関する情報交換会出席／ 6月6日、第2回NPOパワーアップ講座開講式出席／ 6月7日、八王子市地域福祉推進計画策定地域福祉推進部会出席／ 6月8日、平成24年度市民企画事業成果報告会傍聴／ 6月11日、平成24年度モニタリング対応／ 6月17日、NPOフュージョン長池訪問／ 6月24日、東部地区連絡会出席／ 6月25日、協働推進課、観光課、環境保全課訪問／ 6月26日、八王子市地域福祉推進計画策定地域福祉推進部会出席

7月度

7月3日、八王子市役所各部署訪問（市民活動フェスティバル案内）／ 7月6日、第5期志民塾入塾式出席／ 7月7日、南大沢音訳の会「こだま」の「七夕会」出席／ 7月9～11日、桐田中学校生2名職場体験受入れ／ 7月10日、ビル管理会社（大星ビル管理）訪問（フェスティバル打合せ）／ 7月13日、八王子ビジョン2022施行祝賀会出席／ 7月17日、八王子市地域福祉推進計画策定地域福祉推進部会出席／ 7月20日、ソーシャルビジネス成長応援融資キックオフイベント（西武信金）出席／ 7月25日、6市・市民活動連絡会（府中）出席

8月度

8月6日、八王子市協働推進課打合せ／ 8月7日、西武環境保全活動助成金審査会出席／ 8月8日、「笑いのつどい in 八王子」（ユーモアスピーチの会八王子）参加／ 8月12日、八王子東部地域懇談会出席／ 8月16日、特別企画「アイデアをお金に変える秘訣」（八王子アイデア発明研究会）参加／ 8月26日、東京都区市町村NPO担当職員連絡会議参加／ 8月28日、「八王子市都市計画シンポジウム」（八王子市）参加／ 8月29日、「畑deキッチン」（多摩草むらの会）開店内覧会出席／ 8月29日、「八王子NPOパワーアップ講座」中間報告会出席／ 8月31日、「はちおうじ志民塾」ベースプログラム「支援センター紹介」講演実施

9月度

9月4日、第13回オトパ実行委員会発足会出席／ 9月5日、八菜会9月講演会「八王子で野菜をつくろう」出席／ 9月7日、「市民パワーが地域を変える」（調布市）出席／ 9月9日、八王子市地域福祉推進計画策定地域福祉推進部会出席／ 9月13日、協働推進課、総合計画第1課、公聴課、都市戦略課訪問／ 9月14日、「八王子市民講座」発会式出席／ 9月21日、「寄付文化セミナー」（ひの市民活動連絡会）出席／ 9月26日、西武信用金庫来館（西武街づくり助成金について）対応／ 9月27日、「ニュースポーツ体験会」（八王子市民活動協議会）参加／ 9月29日、「健康に導くお手玉」八王子お手玉の会出席

10月度

10月7日、一般社団地方自治研究機構対応（都市センターホテル）／ 10月10日、6市・市民活動連絡会開催（当番幹事）／ 10月11日、協議会団体交流会参加／ 10月14日、創立50周年八王子アマチュア映像祭参加／ 10月15日、拓け！センター元気参加／

10月17日、協働推進課訪問打合せ（石井、大福、大山）／ 10月19日、生涯学習フェスティバル出席／ 10月20日、堀之内秋祭、支援センターのブース出展／ 10月23日、千葉まちづくりサポートセンター来館対応／ 10月29日、北海道恵庭市市議団対応／ 10月31日、NPOパワーアップ講座終了式参加

11月度

11月2日（土） 法政大学多摩キャンパス地域交流センターオープニングセレモニー出席／ 11月6日、立教大学生卒論取材対応／ 11月7日、シニア元気塾講師派遣（支援センター紹介）／ 11月7日、八王子市地域福祉推進計画策定地域福祉推進部会出席／ 11月10日、国際交流フェスティバル（国際協会）参加／ 11月13日、八大緑遊会芋煮会出席／ 11月15日、協働推進課来館対応／ 11月18日、森カフェイベント「地域住民との交流」参加（法政大学ボランティアセンター）／ 11月20日、第4回東アジア市民社会フォーラム2013参加／ 11月21日、「漫画展」参加（日中友好協会八王子支部）／ 11月22日、森カフェイベント「地域交流会」参加（法政大学ボランティアセンター）／ 11月23日、「高齢者介護・共助の街づくり」シンポジウム参加（八王子自治研センター）／ 11月28日、「高齢社会を共に生きる」シンポジウム参加（ニッセイ財団）／ 11月28日、NPO法施行15周年記念イベント参加

12月度

12月1日、第2回シニアが元気になるフェスティバル（ハコー会）参加／ 12月4日、むかし若者ふれあい作品展（センター元気）見学／ 12月6日、たましん主催かぞく市～多摩の健康・介護・医療展～参加／ 12月11日、観光協会訪問（支援講座関係打合せ）／ 12月13日、NTT主催「環境・社会報告会シンポジウム2014」参加／ 12月15日、茨城NPOセンター・コモンズ主催「フューチャーセンター∞茨城」参加／ 12月19日、八王子市地域福祉推進計画策定地域福祉推進部会出席／ 12月20日、市役所他関係先年末挨拶廻り／ 12月21日、第5期はちおうじ志民塾卒塾式出席

1月度

1月6日、八王子市役所他関係各所に年始訪問／ 1月15日、(株)八王子薬剤センター訪問（協働推進課：伊藤部長、松岡課長伴）／ 1月17日、LAS-E監査対応／ 1月20日、八王子東部地域懇談会出席／ 1月21日、法政大学多摩地域交流センター訪問／ 1月23日、6市・市民活動連絡会（西東京市）／ 1月24日、八王子市民活動協議会新年交流会出席／ 1月29日、団塊世代等地域参加支援情報交換会出席

2月度

2月5日、協働推進課来館対応（来年度事業関係打合せ）／ 2月7日、八王子商工会議所「新春の集い」出席／ 2月11日、三鷹市市民協働センター10周年記念フォーラム出席／ 2月17日、NPO信頼性向上フォーラム参加／ 2月20日、地域円卓会議フォーラム参加／ 2月22日、まちづくりフォーラム参加

3月度

3月5日、協働推進課、サイバーシルクロード来館対応／ 3月8日、「お父さんお帰りなさいパーティー」参加、出店／ 3月12日、(株)五大システム来館対応／ 3月21日、子安とハウス内覧会参加／ シンポジウム「～八王子の「強み」と「弱み」を考える～」参加

評価と課題

中間支援施設としての支援センターは、来館の方々に必要な対応をすると同時に窓口や電話対応だけでなく、積極的に現場に足を運び、様々な方々や団体との交流により、ネットワークづくりや連携、協働の基礎づくりを進め、支援センターの認知度の向上を図ります。

(2) スタッフ外部研修（人材育成）

今年度も、スタッフのレベル向上を図り、支援センターとして相談機能を中心とした支援サービスの質的向上を図るため外部研修や様々なフォーラム等に積極的に参加しました。

4月11日、(旗野・野崎) 日本財団CANPAN・NPOフォーラム「助成財団スタッフのひとりごと」／ 8月25日、(児嶋) 日本財団「ブログ、本気の使い方」／ 9月6日、(全員) ファシリテーション研修／ 9月7日、(川久保) 調布市民活動センター「市民パワーが地域を変える」／ 9月25日、(辻村) パブリッシャーズ「Webマガジン」／ 9月26日、(小濱) パワーアップ講座「情報発信」／ 10月3、10、17、24日、(児嶋) パワーアップ講座「会計処理」／ 10月4日、(小濱・辻村) 「NPO法人の定款と役員の役割」／ 10月11日、(小濱) 「NPO法人の会計」／ 11月8日、(スタッフ全員) 環境マネジメント研修／ 11月11、12日、(児嶋) 「災害ボランティアコーディネーター養成講座」／ 11月14日、(西村) 支援力アップ塾・実務ステップアップ編／ 11月14日、(川久保・田中) 「セールスフォース説明会」／ 11月28日、(大山) 「高齢社会を共に生きる」シンポジウム参加／ 11月28日、(大山) NPO法施行15周年記念イベント参加／ 12月13日(川久保)、環境・社会報告書シンポジウム参加／ 12月15日、(川久保) 茨城NPOセンター・コモンズ主催「フューチャーセンター∞茨城」参加／ 2月17日、(大山) NPO信頼性向上フォーラム参加／ 2月20日、(大山) 地域円卓会議フォーラム参加／ 2月22日、(野崎・大山) まちづくりフォーラム参加／ 2月28日、(田中) ITでNPOの活動を加速する中間支援組織とITサービス企業の会議／ 3月1日、(旗野・西村・野崎) ～あらためて学び、知り、考える、NPO活動とCANPAN～

評価と課題

市民や団体関係者の方々から近年、より新しく質の高い情報や知識を求めてられており、相談対応や講座開設に当たっては、中間支援施設のスタッフとして、常に新しい活動のスタイル、知識の習得、新しい講座の参考や講師との出会いなどが必要です。今年度もさまざまな研修に参加するとともに、講師の方にセンターに来ていただき、スタッフ全員でファシリテーションについての研修も行いました。今後とも、スタッフのノウハウの蓄積、多様な知識吸収のため積極的に研修に参加します。

(3) 施設内備品の整備

今年度、支援センターのフロアスペース拡大とともに、フリースペース設置に伴う利用者サービス向上やスタッフ事務の効率化のための各種備品等を購入しました。

手ぶら拡声器4D／ 電気魔法びん／ 延長コード5m／ 郵便はかり／ マルチカードリーダー／ 無線マウス／ 三段棚／ 有線マウス／ 団体PRコーナー棚／ USBポート／ LANハブ／ 電池チェッカー／ 超高速スリムLANケーブル5m／ 工具箱／ PC2台／

Microsoft Office2013 6台分／ ウイルス対策ソフト7台分／ シュレッダー1台／ 鉛筆削り1台／ ラベルライター1台／

評価と課題

今後とも予算措置を施しながら、市民や団体の活動の場、作業の場としての機能充実を図ると同時にスタッフ事務の効率化を推進して行きます。

(4) 図書・資料の充実

今年度も、NPO活動、資金・ファンドレイジング、環境、子育て、健康福祉等様々な分野に関わる書籍の購入や、多くの団体・企業からの研究レポート、活動報告書等の寄贈を受け、支援センター内書籍コーナーに閲覧・貸出し用として配架しました。配架に当たっては、NPO法人の立ち上げや認定NPO法人に関するもの、会計、ファンドレイジング等の団体の運営に関するもの等を中心にセレクトしました。

新しい協働のケース100／ NPO「事務局長」論／ 認定NPO法人になるための運営指南書 国際協力NGO編／ NPOで働く／ NPOリーダーのための15の力／ 協働コーディネーター／ 人が集まるチラシの作り方／ ファンドレイジング入門／ 八王子本／ NPO法人お会計・税務ガイド／ パブリックスピーキング／ 日本ボランティア・NPO・市民活動年表等

評価と課題

今後とも、様々な著作物、団体が発行する書籍など、時宜を得た図書・資料を揃え、市民や団体の方々の情報センターとして、その機能充実を図ります。

(5) 10周年記念事業の実施

支援センター設置10周年を迎えた今年度記念事業として、記念冊子の出版「はちおうじNPOマニュアル」、「事業記録誌(H21～H25)」を作成するとともに、フリースペースを館内に設置できたことから、30を越える市民活動団体の参加を得て、初めての「市民活動フェスティバル」を開催しました。7月13日・14日の2日間で延べ300人近い市民の方々にご来場いただき、団体のアピール、市民との交流、支援センターの認知度の向上に役立てることが出来ました。

評価と課題

「事業記録誌」は設立5周年記念誌以降の5年間の事業記録誌として作成しましたが、今後とも5年毎の記録誌を作成し、事業継続への参考にしていきたいと考えています。また、「はちおうじNPOマニュアル」は市民の方々の地域参加のきっかけの手引書、団体関係者の継続活動への初歩的参考書として利用していただくことを狙いとししました。多くの方に利用していただければと思っています。

10. 広報部の活動

(1) 「SUPPORT802」の発行

例年通り隔月ごとに年6回発行し、紙面については、市民活動の紹介だけでなく、町会自治会活動、地域と大学の連携、防災活動や支援センターのファンド事業や協議会活動など幅広く取り上げました。また、助成金情報や市内の市民活動団体のイベント行事についても出来るだ

け多く掲載できるように配慮し市民活動の支援広報誌として魅力ある内容を心掛けました。
 (発行部数は、毎回5,000部発行)

発行号数	発行部数	発行日	配布先
第54号	5,000部	平成25年5月1日	センター登録団体、協議会会員、市の公共施設、市内各駅の広報スタンド、中間支援団体、市内NPO法人、配布希望町会・自治会 その他(八王子町会自治会連合会、八王子老人クラブ連合会、八王子センター元気、八王子レクリエーション協会、紙面掲載団体、他)
第55号	5,000部	平成25年7月1日	
第56号	5,000部	平成25年9月1日	
第57号	5,000部	平成25年11月1日	
第58号	5,000部	平成26年1月1日	
第59号	5,000部	平成26年3月1日	

主な配布先と配布部数

発行号数 配布先	第54号	第55号	第56号	第57号	第58号	第59号
	25. 5. 1	25. 7. 1	25. 9. 1	25. 11. 1	26. 1. 1	26. 3. 1
センター登録団体	875	875	875	875	875	875
協議会会員(団・個)	197	197	197	197	197	197
市の公共施設	2,100	2,100	1,720	1,720	1,720	1,720
駅の広報スタンド	497	510	510	510	520	540
中間支援団体	285	285	285	285	285	285
市内NPO法人	555	555	555	555	555	555
配布希望町会・自治会	92	92	77	77	77	77
その他	310	360	350	350	480	400
特別配布(アクティブ用)	50	50	50	50	50	50
合計	4,961	5,024	4,619	4,619	4,759	4,699

(2) ライター養成講座の開催

6月に「ライター養成講座」を企画実施しました。これは「フリー記者」を養成し、広報部の活動に参画してもらうことにより、人材育成と広報部活動の活性化を図ることを狙いとししました。12名の受講生には、広報の技術力向上というニーズの高さがうかがえ、講座終了後、受講生と講師で、「書く」ことで八王子のまちを活性化させようと「八王子ライターズ club」を結成し定期的情報交換会を開き、ブログ「八王子輝人」をつくり取材活動を続けています。また、そのうち2名には、サポートスタッフとして支援センターの広報部活動に参加して頂き、外部の視点からの多様な意見で広報部活動の活性化を進めることができました。

(3) 「メールマガジン」の配信

毎月初めに配信しており、現在の配信数は平均504通/月となっています。昨年度の平均は452通/月であり、52通/月の増加となりました。センター登録団体の増加、イベント参加者、その他配信希望者が増えています。メルマガの掲載内容は主として「助成金情報」と「イベント情報」で、昨年と大きな変更はありません。特に助成金情報は好評で、センターのホームページとリンクさせて充実を図っています。他には、八王子市役所の情報や支援センターと協議会のイベントなどを掲載しています。

配信先／配信 日配信号数	4/3 51号	5/1 52号	6/1 53号	7/3 54号	8/3 55号	9/1 56号	10/2 57号	11/1 58号	12/1 59号	1/4 60号	2/1 61号	3/1 62号
登録団体	210	210	217	220	220	221	216	214	217	220	220	222
イベント参加者	90	101	101	101	106	106	106	106	106	106	106	106
中間支援団体	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
協議会理事	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
協議会関係	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89
その他	46	46	46	46	46	46	69	69	69	69	69	69
合計	475	486	493	496	501	502	520	518	521	524	524	526

評価と課題

(1) 「SUPPORT802」の紙面づくり

1ページに多くの内容をご掲載し過ぎて、読みにくいとの指摘もあり、表現や内容を精査し、見やすい紙面づくりに努めました。しかし、4面の市民活動団体のイベント紹介では、出来るだけ多くの団体を掲載することを優先しています。また、「SUPPORT802」題字の占める範囲が紙面の約1/5を占めており「掲載内容の見出しを圧迫して記事が目立ちにくい」との考え方から、より多くの方が関心を持って機関紙を手にとっていただけるよう、現在、題字の面積を小さくして掲載記事が目立つ工夫をすべく検討中で、来期5月号より改善を予定しています。

(2) 配布先、配布部数

発行部数は5,000部と以前から変わりませんが、設置場所の状況を把握しながら、都度、配布部数を変更したり、新しく配布先を開拓したり等効果的な配布を進めていきます。

(3) メールマガジン

メールマガジンについては配信件数も増加しており、助成金とイベント、各種セミナー講座の案内も大変評価を頂いており、今後とも配信先増に取り組むと同時に、支援センターの情報発信手段として、「広報誌」、「メルマガ」以外のWEB媒体についても検討し、広報としての情報発信力を高め取組みを行う予定です。

1.1. 啓発部の活動

(1) アクティブ市民塾

今年度も幅広い分野の団体をその団体の活動がよくわかる場所で紹介するよう努めました。2月には1回に複数の団体の活動場所をバスで訪れるツアーを実施しました。この講座には反響も大きく、また参加者からは大変好評でした。アクティブ市民塾の新たな形態として来年度以降にもつなげていきたいと考えています。

また、アンケート項目を変更して、団体と市民をより一層つなげたり、どの地域からの参加者が多いのかを把握することで、地域の関心やイベント企画や広報活動に活かすようにしました。

NO	実施日	紹介団体	タイトル	参加者数	備考
119	4/21	多摩丘陵の自然を守る会	ぱすてるカラーにつつまれて ～春の長沼公園・平山城址公園を 歩く～	—	悪天候のため 秋に延期
120	5/22	NPO法人 環境活動センター八王子	北野環境施設まると見学ツア ー	25	於:あったかホ ール
121	6/22	八王子六つ星会	点字から広がるユニバーサルな” まち” ・・・点字体験つき・・・	20	
122	7/27	カシュパパ	パパを楽しむ3つのプログラム バルーンアートに挑戦、絵本読み 聞かせライブ、交流会で楽しく情 報交換	29	於:堀之内 CUORE
123	8/31	NPO法人こすもす	みんなの笑顔が集まるコミュニ ティカフェの作り方	19	於:カフェこす もす
124	9/28	大久保長安の会	400年の時を経て今、大久保長安の足跡 をたどる	60	定員を20名 超えて参加
125	10/29	NPO法人エンツリー	オトナ女性のための自分気づき のカラージュマッピング ～わたしの輝き再発見～	26	会場の都合上 7名お断りしま した
126	11/24	多摩丘陵の自然を守る 会	秋の風を感じて ～長沼公園・平山城址公園を歩く ～	54	運営の都合上 20名お断り しました
127	12/14	八王子九重かるた愛好 会	百人一首競技かるたで脳の活性 化大作戦!! ～子ども達も大人気!! ちはやぶるの世界を体験～	38	於:台町市民セ ンター
128	1/25	NPO法人はちふく・ねっ と	知ると知らぬは大違い! 必見!シニアのための快適住まい づくり	34	
129	2/18	生活クラブ運動グルー プ八王子地域協議会と の共催	みて、きいて、それから参加す る!! いろいろなNPO・団体見学ツアー	23	バス座席の都 合上15名お 断りしました
130	3/15	FPネットはちおうじ	チラシはお得情報の宝庫!! 消費税アップを乗り切るチラシ活用術	15	
実績合計				343	

(2) 支援講座

各講座とも、参加団体同士の交流の場として多くの評価いただきました。

NO	実施日	テーマ	参加 団体数	備考
①	7/13	～メンタル支援の仲間たち～「精神的な悩みを抱える人に関わ る市民活動団体の交流を図る」	5	
②	12/17	高齢者や障がい者介護の家族に関わる市民活動団体の交流 を図る	4	
③	2/13	高尾山と市民活動団体 ～自然と観光資源との共生を考える～	6+1	

①NPO法人わかき福祉会地域生活支援センター「あくせす」／ 草の根メディエーションの会
／EA八王子グループ／ NPO法人 多摩草むらの会／ 八王子精神医学ソーシャルワーカー

(PSW)研究会／

②NPO法人らいふねっとMOE／ NPO法人はちふく・ねっと／ 八王子らむねっと／ 八王子高齢者あんしん相談センター高尾

③高尾山英語ボランティアガイドクラブ／ 高尾山の花名さがし隊／ 高尾野花フォトサークル／ 高尾の自然科学博物館を考える会／ 高尾山マガジン編集委員会／ 高尾山とんとんむかし語り部の会／ 自然教育研究センター

(3) 実践講座

市民活動を展開する際には不可欠とも言えるべくチラシ作製への関心が高く、坂田静香講師の講座は大好評でした。集客力を高める努力の継続は当然のこととして、申し込みが定員を超えた際の適切な対応が重要であることも再認識させられました。

実施日	テーマ	講師	参加者数	備考
12/3	人が集まる!行列ができる!講座と チラシの作り方	坂田静香さん	59	会場の都合上、 50名を断りました

評価と課題

三種類の講座について、幅広い分野にわたって開催することが出来ました。参加者の年齢層についても幅が広がり、若い年齢層の参加も増えました。今年度アクティブ市民塾で新たな視点として、アンケートに「今後もその団体情報を知らせて欲しい」という項目を設け、参加者の団体に対する興味度の把握し、その結果を団体に伝えることで活動の参考にしていただけたようにしました。また、啓発部においても外部サポートスタッフの参画を得ており、様々な角度からの意見を取り入れながら、今後も活動を進めていきます。

来年度は八王子市民活動協議会などが主催したNPOパワーアップ講座が支援センター事業となる予定です。これを機に各講座の棲み分けを見直して体系的に取り組み、さらに充実した講座の提供を行います。

また、情報発信ツールとしてのホームページの一層の活用や、会場やテーマの制約はありますが、より多くの市民の方に団体の魅力をお伝えするような募集も工夫してまいります。

1 2. 情報部の活動

(1) 支援センターホームページの運営管理

1) ホームページ内容追加変更

ゆめおりファンド「物品在庫リスト」ページを新規作成し、物品名 規格 数量 区分 写真等物品カテゴリー別に選択表示させる機能を持たせ、現状どのような物品があるのかの情報を常設することによって、利用者利便性の向上を図り、10月1日に運用を開始しました。

2) 全体画面改善

HP改善希望項目をリストアップし、協働推進課、(株)五大システムと検討をすすめ、今年度下記事項を実施しました。

- ①トップ画面のタイトル絵の表示の縮小。
- ②タイトル部分に「SUPPORT802」を表示。
- ③支援センターのシンボルマークの「サポハチ」のイラストの表示。
- ④タイトルロゴを見やすく改善。等のほか、人的資源情報公開画面及び管理運用機能改善や助成金情報管理運用機能改善を行いました。

(2) システム/ネットワーク関係

1) 機器、ネットワーク・配線等の改良再配置

支援センターの拡充レイアウト変更に伴い、O A機器配置、ネットワーク・配線を再設置しました。また、P Cから印刷機への出力を可能にし、その安定印刷のためL A N基盤を設置する等作業の効率化を行いました。

2) 情報セキュリティ関係調査

協働推進課からの調査依頼により、中国製の日本語入力ソフト「B a i d u I M E (バイドゥ・アイエムイー)」導入調査を行い、結果支援センター及び指定管理者である協議会で不導入を確認しました。また、コピー機/プリンターのデータ流出事故に関し協働推進課より調査依頼があり、調査の結果問題ないことを確認しました。

(3) データーベース導入検討

関係市民活動団体及び個人利用者への支援サービスを将来的に拡充するため、会員、支援団体、イベント等各種情報を統合管理できるデータ管理システムの調査・検討をし、「Salesforce」(日本語版は FundrexDRM 基本パック) が望ましいとの結論に達しました。システムの導入には業務フローの変革を伴い、資金やマンパワーも必要とするため、今後、協働推進課や指定管理者とも協議し進めていきます。

(4) 支援センターHP更新業務

	累計	月平均
①イベント登録件数；イベントカレンダーへの登録	297 件	25 件
②新着情報	38 件	3 件
③助成金情報	101 件	9 件
④ボランティア情報	6 件	1 件

評価と課題

支援センター内各部門と連携するとともに、協働推進課、(株)五大システムと協議しながら、利用者目線を大切にするとともに、管理者作業の合理化等に取り組む、サイト訪問者の見やすさや利用利便性の向上、改善を進めることができました。そして、次年度より、Web サイト保守管理業者との契約が八王子市から指定管理者(八王子市民活動協議会)に移管されることから、これを機会に、さらにHPの運営管理の迅速対応や発信力向上を図っていきます。

1.3. ファンド部の活動

(1) 物の支援促進

昨年末に実施した市民活動協議会の団体訪問アンケートの結果、物品ニーズのあった一部団体に対して在庫品の紹介と提供を行いました。物品寄付は、団体、個人を含め13件、計38点と大幅に減少しており、企業・団体からの規模の大きい寄付がなかったことが理由としてあげられます。一方、市民の方からの寄付が10件増えました。物品提供は、11件、計164点でした。平成22年度以降、物品寄付は減少傾向が続いています。その理由の一つとして、コストと環境負荷の観点から社会的にリユース、リサイクルが普及していることが考えられます。今後とも寄付元拡大を積極的に図っていきます。

(2) ゆめおりファンド寄付依頼：企業・団体に対するPR活動

ゆめおりファンド寄付元開拓のために企業・大学を訪問し、ファンド活動のプレゼンテーションと物の提供についてのご支援・ご協力をお願いしました。特に、下期はPRツール「求む！八

王子応援団」チラシを作成してプレゼンテーションに活用しました。今年度は地元企業にも目を向け、八王子商工会議所へ寄付PRを行いました。また、法政大学・多摩地域交流センター訪問時、ファンド事業の将来ビジョンについて学生とのコラボレーションについて話が出たこともあり今後検討して行きます。

(3) ホームページ在庫リストの更新

支援センターホームページゆめおりファンドに、利用団体が必要とする物品在庫の有無・寸法・数量等を確認しやすくするために、物品名をカテゴライズした在庫品リスト画面を作成しました。

(4) ゆめおりファンドに関するアンケート調査

ゆめおりファンド活動を充実し、その支援効果を更に高めるために、市内483団体に「ゆめおりファンドに関するアンケート調査」を行い、認知度、利用有無、提供品活用状況、今後利用希望の有無、利用しない理由、人材ニーズ、必要な人材の人物像、その時期、物品ニーズ、支援センターへの期待等についての問いかけを行いました。その結果、85団体(18%)から回答を得、ホームページに公開しました。

(5) ミニ頒布会の実施

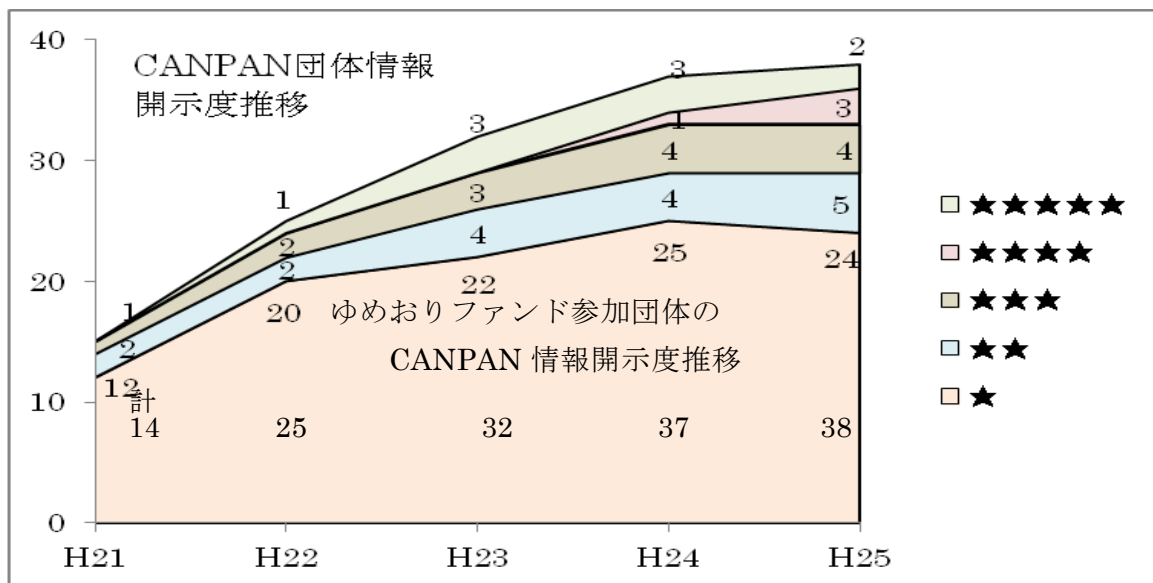
6月・11月・1月の3回、由木倉庫にてミニ頒布会を行い、延べ7団体のご利用を頂きました。

(6) 中間支援団体等の調査

公益ポータルサイト「チバのWA!」を運営するNPO法人や調布市市民活動支援センター等を訪問し、広く一般市民からの寄付からなるファンドの実際面について学びました。

(7) CANPAN、ゆめおりファンド登録の促進

新たに3団体(CANPAN★★★★:2団体/★:1団体)がゆめおりファンドに参加しました。実質的な活動をしていないとの理由から参加を取り消した1団体(CANPAN★)を含めて、ゆめおりファンドに参加している団体は現時点で38団体となりました。ゆめおりファンド参加団体のCANPAN団体情報開示度は次の通りです。



(8) CANPAN登録情報の更新

団体情報開示を目的とするCANPANは1年毎の情報更新を求められていますが、実際に更新しているゆめおりファンド参加団体は39団体中13団体と考えられます。また、平成21、

22年に登録後更新していない団体も18団体あります。更新手続きの煩雑さ、マンパワー不足、CANPAN登録メリットの理解不足等で更新が充分ではありません。今後ともNPO活動のアカウントビリティ、寄付文化醸成のために登録促進、更新のサポート体制を検討して行きます。

(9) ゆめおりファンド管理標準類等の改定・整備

寄付品・提供品在庫管理元帳の作成／ 寄付申込書、寄付品受領書、提供(品)申込書、提供品受領書、頒布会参加申込書の改訂／ ホームページ在庫リストHTML版新規作成

(10) ゆめおりファンドインセンティブ検討

ゆめおりファンド参加団体の情報開示を支援するために、従来グリーンファイルに収納していた団体情報をレッドファイルとして分離し、またCANPAN★★★以上の団体に付与している第三者認証ゆめおりマーク付与状況も閲覧者から見える化することで他との差別化を図りました。

(11) 寄付元開拓

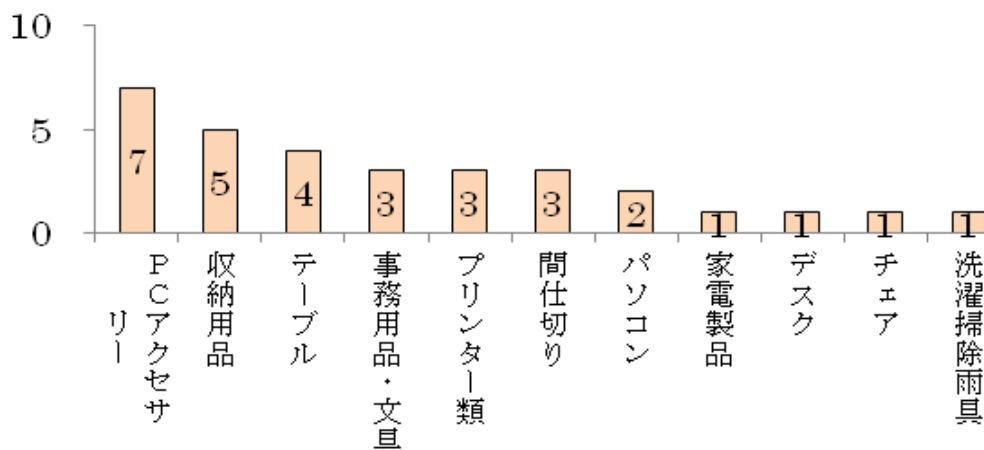
西武信用金庫／ 広友リース(株)／ 多摩信用金庫／ 首都大学東京／ 八王子商工会議所／ 法政大学／ オリック環境(株)／等を訪問し市民活動への理解や支援をお願いしました。

(12) 団体訪問

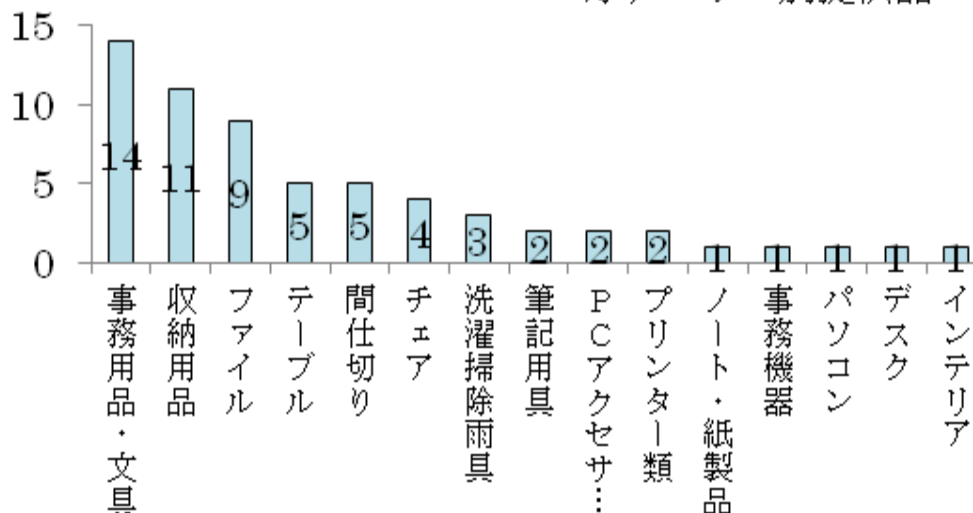
社会福祉法人落の会／ 八大緑遊会／ 一般社団法人チャイルドライフ／ 八王子さくらの会／ なみき福社会／ めじろむつみクラブ／ 未来設計・キャリア開発研究会／ らくだの夢グループ／ 日本ウェルネット等を訪問し、ニーズの把握や情報交換を行いました。

(13) 寄付・提供・頒布実績

カテゴリー別寄付物品



カテゴリー別提供品



評価と課題

リユース(再使用)、リデュース(廃棄物の発生抑制)の普及等による寄付物品の減少やCANPANシステム登録維持手続きの煩雑さ、メリットへの疑問、仕組みへの低い認知度等による登録団体の広がり不足の課題に、団体のアカウンタビリティや基盤強化の趣旨に沿って、引き続き広報や登録維持サポート体制の検討等で取り組んでいくと同時に、次のステップ「人財支援」も視野に、八王子市民活動協議会と研究・検討を重ね準備を進めていきます。

以上